

「城里テストセンター」 が開業しました

ニュース城里



城里テストセンター（敷地面積 302ha）

- ① 旋回試験場 ② 低μ路（ブレーキ性能等をテストする滑りやすい特殊路面）
- ③ 総合試験路 ④ 多用途試験路・NV路
- ⑤ 走行音試験路面 ⑥ 燃料電池自動車安全性評価試験棟
- ⑦ 悪路試験場 ⑧ 高速周回路 ⑨ 外周路
- ⑩ 管理エリア

10月5日、日本自動車研究所（JARI）の城里テストセンター（小坂）が開業し、記念式典及び一般公開が行われました。記念式典には、同研究所の小枝理事長や橋本知事、石川県議会議長をはじめ各種自動車メーカー及び関係者250人が出席して盛大に開催されました。また一般公開には、地元町民350人が参加。施設内で説明ビデオを見たあと、コース内をバスに乗って高速集回路（5.5km、最大斜度45度）や走行音試験路等を見学して回りました。



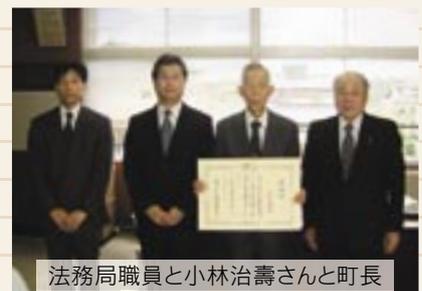
テープカットの様子

小林治壽人権擁護

委員に感謝状

平成2年より人権擁護委員として人権の擁護と人権思想の普及高揚に尽くされた小林治壽さん（阿波山）が9月30日を持って退任されるにあたり、その功績に対して法務大臣より感謝状が授与されました。

これまでのご尽力に対し厚くお礼を申し上げますとともに、今後のご健勝をお祈り申し上げます。



法務局職員と小林治壽さんと町長

振込め詐欺の講演会

県警本部の飯塚武さんによる講演会「振込め詐欺被害の実態と防犯対策について」が、10月12日、「コミュニティセンター」城里で開催されました。この講演会は、「第40回東茨城郡高年者クラブ連合会指導者研修会」のなかで行われたもので、研修会参加者と一般町民約200人が集まりました。

「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」これらの手口と対策について、実際に昨日送られてきたという架空請求のながきを実例にあげるなど、具体的にわかりやすく話してくださいました。年々巧妙化している振込め詐欺の被害を防止するためには「振込む前に必ず誰かに相談すること」そして「自分とはひっかからない大丈夫と思わないこと」が大事だということです。皆さん被害にあわないよう十分気をつけましょう。



みんなでつくる安心の街 防犯キャンペーン

10月11日から20日にかけて全国各地安全運動が行われました。この運動は、安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、自主防犯活動等、防犯の輪を広げることが目的としています。

期間中の10月11日には常北地区、12日には桂地区、13日には七会地区でそれぞれ、防犯キャンペーンを実施。笠間警察署員、町の防犯連絡員等が参加し、ひったくり防止に有効な自転車カゴの防犯ネットを、買い物帰りの方などに配布しました。

ゆずろうよ
みんなもいつかは 高齢者

秋の全国交通安全運動初日の9月21日に、坏十字路で交通安全キャンペーンが行われました。

笠間警察署員、笠間地区交通安全協会、金長町長、町職員等が参加。通行人やドライバーに、交通安全の啓蒙品として、夜間に反射する蛍光たすきを配布し、夕暮れ時の歩行者や自転車乗用中の交通事故防止を呼びかけました。

夕暮れ時や夜間は、歩行者や自転車等が見えにくいので、早めのライト点灯を心がけ、周囲に気を配った運転をしましょう。



百歳おめでとう！おめでとうございます

今年度100歳を迎えられる、石塚にお住まいの岡崎やゑさんと阿波山にお住まいの待井みかさんに、金長町長がご自宅を訪問して、県からの祝いの褒状・記念品と町社会福祉協議会よりの記念品が手渡されました。

どうぞお体を大切にいつまでもお元気で過ごしてください。



ホロルの湯で防災避難訓練

9月15日(木)、城里町健康増進施設「ホロルの湯」で防災避難訓練が行われました。水戸市消防本部の指導の下、従業員約50名が参加し、火災発生を想定した避難訓練や初期消火を目的とした消火器使用訓練を実施し、災害時における利用客の安全確保や各種設備の使用方法の確認、各種機関の協力体制等を再確認しました。



防犯灯の寄贈について

10月18日に東京電力株式会社 常陸大宮営業センターから所長の木村操さんと所長代理の中崎昇さんが来庁され、防犯灯12基が目録により城里町へ寄贈されました。



消火訓練の様子



岡崎やゑさんと町長